

山 宣

第28号

宇治山宣会

会誌『山宣』28号発行

2022年12月（B5判 92ページ 450冊）

会誌『山宣』は、山宣に関する情報や会員の皆さんの山宣への思い、宇治山宣会をはじめ各地の山宣会の活動などを全国に発信する山宣情報誌です。

1995年の創刊以来、毎年発行し28号を迎えました。会員の皆さんにお届けするとともに、図書館や研究機関に寄贈し、希望者に頒布しています。

以下、内容をいくつか紹介します。

◆寄稿『美代さん100歳』（永島民男さん）

なんと言っても最初にご紹介したいのは、「山宣の末っ子で次女の井出美代さんが10月31日に満百歳を迎えました。」で始まる永島民男さん（東京山宣会会長）からの嬉しい寄稿文です。

お元気な様子の写真や、「小学校入学を4月に控えた3月5日に父宣治と永別」した美代さんが書いた『父 山本宣治の思い出』、当時の懐かしい写真や和歌（——議員章欲しとねだりて困らせしことを最後に父と別れぬ—— ほか）が載っています。



美代さん



◆「山本宣治生誕133年記念講座」 福山和人さんの記念講演を全文掲載

山本宣治の誕生日5月28日、コロナ禍の影響で3年ぶりとなった「山本宣治生誕133年記念講演会」が開催され、100人の参加者が、福山和人さん（弁護士・京都法律事務所）の記念講演『福山和人、いま言いたいこと～ウクライナ、憲法、コロナ……～』に聴き入りました。

記念講演の全文を掲載しています。

福山さんは、ロシアによるウクライナへの侵略は、如何なる理由を付けようとも国連憲章、国際法に何重にも違反する許すべからざる行為であると強調。その上で、今回の事態がどうして起こったのかについて冷静な分析が必要として掘り下げ、そこから日本が学ぶべき教訓を導き、今求められている事は何かを熱く語りかけています。

岸田政権が「戦争する国家づくり」へ突き進もうとしているとき、平和と暮らし、憲法を守る運動を進める上でぜひともお読みいただきたい内容です。

◆全国から 200 人が参加した「第 93 回山宣墓前祭」



山本宣治の命日 3 月 5 日、時折強風が吹きつける宇治市善法墓地で「第 93 回山宣墓前祭」が執り行われ、全国から参集した 200 人の参加者は、山宣を偲びその遺志を受け継ぐ誓いを新たにしました。

今回の墓前祭は、直前に始まったロシアによるウクライナ侵略への抗議と即時停戦・撤退を求める声に包まれ、プーチン大統領あての抗議・要請文を特別決議し大使館宛に送付、また会場で寄せられたウクライナ支援募金を

国連機関へ送金しました。

孫の山本勇治さんが遺族を代表して謝辞を述べ、長野山宣会、東京山宣会、安住淳衆議院議員、日本共産党衆参国議員各氏、梶川憲京都総評議長からもメッセージが寄せられました。

◆興味深い寄稿コーナー

寄稿としては、●最初に紹介した「美代さん 100 歳」(永島民男さん)の他に、●同じく永島民男さんの、東京山宣会が新たに発行したブックレット『唯生唯戦』の紹介と、その中で、「10 代後半の宣治が東京の街でどう育っていったのか」をまとめた章を紹介した寄稿、●幸徳秋水や大杉栄、山本宣治、小林多喜二らの生き様をたどり、「自由で平和な社会を求め、懸命に生き抜いた人たちの熱い想い、叫びこそ私たちは今一度真摯に向きあいたい。その上で基本的諸権利、平和への彼らの想いを継承していきたい。」と綴られた京丹波岩崎革也研究会の奥村正男さんの寄稿、●山宣生誕 123 年記念行事での大江真道司祭の記念講演にふれ、司祭との思い出をひもとき、また山宣生誕 110 年記念事業で取り組まれた「山宣 青春の地を訪ねるカナダの旅」に参加したときのスケッチなどを紹介した吉田昇二さんの寄稿など、いずれも興味深い内容です。

◆山宣コーナー

山宣コーナーには、今年 4 月、宇治市伊勢田町に開館したウトロ平和祈念館の訪問記があります。各種マスコミでも報道され、オープン以来 8 カ月間に高校生や若者も含め 9000 人が訪れているとのこと。この間、山宣ガイドをしたいいくつかの団体が、この祈念館と「詩人尹東柱 記憶と和解の碑」も併せて訪ねています。案内地図も載っています。

また、「法然院に河上肇のお墓を訪ねる」では、『自叙伝』にみる山本宣治への思い」として「(4) 同志山本宣治兇刃に殞る」より、河上肇の「思い」が抜粋・紹介されています。

◆「『詩人尹東柱 記憶と和解の碑』 建立 5 周年記念のつどい」への藪田会長のメッセージや、各地の山宣会の活躍の様子も掲載しています。

会誌「山宣」28号をご購読ください

- ◇28号はB5判 92ページ、450部発行し、一冊1000円で頒布しています。
- ◇送付する場合は送料等100円を加えて1100円となります。(1冊の場合)
- ◇事務局までご連絡下さればお送りします。振込用紙(郵便局)を同封します。
- ◇連絡先 〒611-0033 宇治市大久保町北ノ山11-1 藪田秀雄方
宇治山宣会 Tel・Fax 0774-48-2472

2022年12月23日、宇治山宣会は会長名で岸田総理大臣あてに 下記の抗議・要請文を送付しました。

12月16日、岸田政権は「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」、「防衛力整備計画」の安保関連3文書を閣議決定した。

これらの文書は、歴代自民党政権が掲げてきた「専守防衛」を投げ捨てて、日本を米軍とともに「海外で戦争する国」づくりへと突き進むものであり、しかも、国民的な議論も国会での審議も抜きに閣議決定で強行しようとしている。

戦前の暗黒時代に命がけで侵略戦争に反対してたたかった山本宣治を顕彰しその遺志を受け継ぐ活動を進める宇治山宣会は、今回の閣議決定に断固抗議し撤回を求める。

今回明記されている「敵基地攻撃能力」の保有は、日本が攻撃されていなくても、集団的自衛権の行使を認めた安保法制の下で、米軍とともに自衛隊が相手国の領土を攻撃することも可能になるもので、日本を守るところか日本を全面戦争に巻き込みかねない極めて危険なものである。さらに、軍事費を今後5年間で総額43兆円確保するなど、憲法破壊・大軍拡への道を突き進むものである。

岸田首相は、大軍拡の財源として「国民の責任で」と「増税」を指示しているが、この大軍拡の道が大増税、社会保障切り捨てを一層進め、国民の暮らしを破壊することは明らかである。

憲法を踏みにじる「戦争国家づくり」ではなく、憲法9条を生かした外交で平和をつくる政治、暮らしを守る政治こそ進めるべきである。

以上、宇治山宣会は、「戦争国家づくり」を推し進める安保関連3文書の閣議決定に抗議し撤回を求めるものである。

山本宣治生誕134年記念講演会 開催予定

ご期待ください！

- ◆と き：5月28日(日)午後2時～
- ◆ところ：宇治市生涯学習センター第1ホール
- ◆内 容：記念講演会ほか

主催：宇治山宣会

後援：山宣祭実行委員会